



つちおと

南三陸町・入谷、名足両地区災害公営住宅竣工式！

- 8月2日（土）、当支所管内第一号となる入谷、名足両地区の災害公営住宅の竣工式が名足地区で行われました。

入谷地区は木造の一戸建てが9戸、鉄筋コンクリート構造（RC造）3階建ての集合住宅が42戸、名足地区は木造一戸建て5戸、RC造3階建て集合住宅28戸が完成しました。

震災から3年4か月もの時間が過ぎており、入居者の方々には「ようやく、けえってきた！」という思いでいっぱいなのではないでしょうか。新しいコミュニティの中での新しい生活が充実したものとなりますよう、宮城復興局も引き続きサポートして参ります。

当支所管内の災害公営住宅については、今年度内に、気仙沼市の南郷地区で集合住宅165戸、階上地区（1工区）で一戸建て57戸、長屋19戸、南三陸町の升沢地区で集合住宅20戸が完成予定となっています。



名足地区災害公営住宅
（写真提供：南三陸町）



佐藤町長、小野寺防衛大臣ら関係者が
テープカットで竣工を祝う

◆最近の夏は、温暖化の影響もあるのか、ちょっと暑すぎます。（私の子供のころは、30℃位で暑い、暑いといった気がします。）体調管理には十分お気をつけ下さい。また「暑さ寒さも彼岸まで」と言われていますので、もう少しの辛抱かと思えます。今年の台風の発生件数は、比較的少ない（感覚的）と思っていますが、秋に来る台風は太平洋高気圧の勢力減少のため、東北の沿岸部に影響が大きいことが多々ありますのでご注意ください。

◆復興庁予算の平成27年度概算要求額については新聞紙上を賑わせていますが、現在、気仙沼支所は第10回復興交付金事業計画の策定支援に取り組んでいます。（市町の職員の方々、大変ご苦労様です！）復興庁・宮城復興局・気仙沼支所が一丸となり頑張ります。引き続き復興に向けて汗をかいてまいります。

（松）

～ 復興支援インターン！ ～

第20号で紹介しました「復興支援インターン」ですが、今年度も実施する運びとなりました。これは、日本全国の大学生に、被災企業での職業体験等を通じて、被災地の現状、課題等について学ぶとともに、そうした自らの体験等を広く発信していただくもので、復興大学が主催、宮城復興局などが共催しています。

8月25日から8月31日にかけて、南三陸町の水産加工会社5社に受け入れて頂きましたので、その様子をお知らせします。

学生たちは、被災企業の経営者の方、従業員の方などから、被災当時の様子や、津波で流された歌津地区の郵便ポストが沖縄で見つかり、その縁で沖縄の歌手BEGINが夏祭りに2回も来てくれたということなど、復興のエピソードを聞きました。その後、それぞれの企業の工場で、モズクに異物が入っていないか指で選り分けながら確認する作業、揚げかまぼこの袋詰め作業など職場体験しました。今後、各自の大学に帰って、情報発信に取り組んでいきます。

「復興支援インターン」を通じて、被災企業の方々も、学生たちから、若いパワーをもらえたのではないのでしょうか。

受け入れ企業や、参加大学などは復興庁HP（以下のURL）に掲載しております。

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/20140808fukkouinta-n.pdf>



異物をモズクから選り分ける



被災当時の様子を聞く学生たちの様子

～ 歌津復興夏祭り！ ～

8月10日から11日にかけて、伊里前福幸商店街などにおいて、歌津復興夏祭りが開催されました。10日は台風の影響により、天候には恵まれない時間帯もあり、やむなく学校の体育館に入ることになったようですが、11日は、ボランティア参加の大学生、地元の中高生など、各地から人が集まり、屋外ステージ、出店もにぎわいました。

このほか、震災時の津波により流出し、沖縄に漂流した歌津の郵便ポストが披露され、BEGINも参加するなど、ポストのふるさと歌津がPRされました。



夏祭りの様子



祭りを盛り上げる東京合同バンドWindsの演奏

～ 鹿折復幸マルシェが再出発！ ～

前号（第25号）の復興関連イベントのコラムでお知らせしましたとおり、鹿折復幸マルシェは閉場いたしました。9月1日、一部店舗が、鹿折地区内の約500メートル離れた場所に設置された新たな仮設で、営業を再開しました。全店の移転完了・オープンまでにはもう少し時間がかかるようですが、仮設商店街の名称を、「復幸マーケット」に改めての再スタートです。

これは、土地区画整理事業の進捗に伴う移転です。このほか、鹿折地区では、見学台も整備されるなど、着々と復興まちづくりが進んでいます。



「復幸マーケット」外観



見学台に上がれば工事の様子が見える

～ 内湾地区復興まちづくり協議会の全体会が開催されました！ ～

7月31日、気仙沼市内湾地区復興まちづくり協議会の全体会が開催されました。気仙沼の「顔」である内湾地区では、市が平成24年4月にまちづくりコンペを実施し、幅広くアイデアを募集しました。その結果を踏まえて同年6月に内湾地区復興まちづくり協議会が設立され、以降、市・市民・事業者を交えたまちづくりの検討がなされています。そこで出た意見は、「内湾地区復興まちづくり計画に関する提言書」として取りまとめられ、Ver. 1を市長に提出した後も改訂が重ねられています。

今回の全体会では、提言書 Ver. 3の提出に向け、それまで魚町、南町の地区会で協議されてきた内容をどのように提言書に反映するか報告と協議がなされました。菅原昭彦会長の挨拶と経緯の説明のあと、提言書の改定案を事務局より説明。今回の改定では、地区のにぎわいを創出するための「スローシティ気仙沼」のコンセプトが明記され、そのほか、公園の機能、防潮堤の断面形状、避難対策、主要道路の整備方針、公園や緑地の機能やコンセプトについて、まちづくり協議会としての要望が盛り込まれました。質疑応答では、幹線道路である気仙沼唐桑線の無電柱化を求める声や、地区に隣接した公園と一体的に考える必要性を指摘する声があがりました。また、会議のコーディネーターからは、色々なアイデアがあるが、何を重視するかの統一した考え、分かりやすいコンセプトが重要で、そのためには、地元目線の身近な意見がこれからも大事になってくるという話がありました。

また、上物についての具体的な動きも。「南町海岸商業施設プロジェクト」の勉強会を立ち上げ、新しい商業施設のコンセプトや事業の進め方について話し合おうという、事業者等に対する呼びかけもなされました。



全体会の様子

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【9月13日】楽しいエイジング2014 主催：東北大学／東北大学加齢医学研究所

加齢とうまく付き合うための科学、老年期を愉快地に過ごすノウハウを気軽に学んでみませんか？（年齢を問いません）
聴講無料 定員約100名 申し込み不要 ソフトドリンク＋お菓子付き
9月13日（土） 気仙沼会場 「心筋梗塞・脳梗塞の予防法」 講師 堀内 久徳（東北大学加齢医学研究所 教授）
◇開催時間① 10:30～11:30 ◇場所 大谷公民館 ◇開催時間② 14:00～15:00 ◇場所 面瀬センター
詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.idac.tohoku.ac.jp/demae/img/poster2014.pdf>

【9月28日】志津川湾タコまつり復興市

「西の明石か、東の志津川か！」全国的に有名なタコをテーマとした開催となります。多種多様なタコグルメや催しによる賑わいを、ぜひお楽しみください。
◇開催日時 9月28日（日） 9:30～14:30 ◇場所 ベイサイドアリーナ特設会場（南三陸町志津川字沼田56）
お問い合わせ ⇒ 復興市実行委員会 TEL: 090-7077-2550 URL: <http://www.m-kankou.jp/>

ナンプレにチャレンジ！！

	6					5	
	9	8	6		3	4	1
4							8
9	5					7	1
		6	7		4	9	
8	2		9		1	4	6
	4						2
	7	5				1	3
2			5		9		4

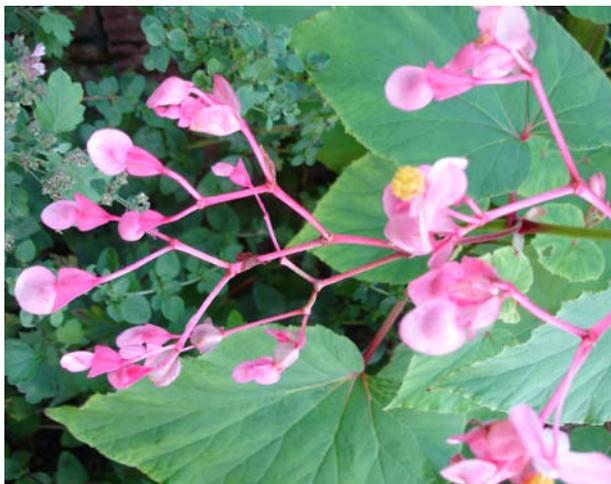
ルール
・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
・太枠で囲まれた9マス（縦3マス、横3マス）にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

【編集後記】

◆9月に入り、ずいぶん涼しくなりました。東北の夏は短いですね。みなさん充実の夏を過ごされたでしょうか。私は気仙沼、歌津、志津川、と3箇所の夏祭りへ出かけるなど、地域に飛び込み、海を眺めました。（前号のナンプレの回答）

9	6	5	8	7	2	1	4	3
8	3	7	9	1	4	5	2	6
4	1	2	6	5	3	9	8	7
3	5	8	7	6	9	2	1	4
1	4	9	2	3	5	7	6	8
2	7	6	4	8	1	3	9	5
7	8	3	1	2	6	4	5	9
6	2	4	5	9	7	8	3	1
5	9	1	3	4	8	6	7	2

内の脇保育所近くの
シユウカイドウ!



これまで発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます
①復興庁のホームページ
②宮城復興局
③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>